

富士公園バーベキュー場の現状維持を求める陳情

(生活振興環境委員会付託)

受 理 番 号      第 6 3 号

受理年月日    令和 7 年 2 月 1 0 日

付託年月日    令和 7 年 2 月 2 0 日

陳 情 者      . . . . .  
                 . . . . .

陳 情 原 文      富士公園のバーベキュー場は、緑豊かな森の中で、区民が安価に楽しく寛げる憩いの場所です。区民の共有財産（コモンズ）であり、多くの区民にとって大切な場所です。民間委託による儲ける公園化と環境破壊の計画は区民のためになっていないため現状維持を求めます。西なぎさや新左近川のバーベキュー場が民間委託され、価格が上昇して手軽に利用できなくなった現状を考えると、富士公園のバーベキュー場は貴重な施設です。区民が気軽に利用できる場所であり、おしゃれさや儲けは不要です。

このバーベキュー場は居心地が良く、安価で、森林に囲まれた自然と一体となった場所です。パーク P F I 方式によるスクラップ & ビルドの再生計画は環境破壊に他なりません。7,000 本の木を切り倒し、8,000 本を植える計画は、30 年以上育まれてきた木々を破壊するものです。木々の移植には費用が嵩むことから、コスト削減のための見せかけの植栽に過ぎません。このような計画は環境だけでなく、そこに根ざした文化も破壊します。

真の豊かさとは、文化や自然が存在することです。これも資本と言えます。お金だけが資本ではなく、このような社会共有資本こそ江戸川区の魅力です。例えば、公園が多く緑豊かで川に囲まれていることは子育て世代にとって大きな魅力です。また、温もりある下町文化は親水公園を中心としたふれあいや祭りなどによって育まれています。このような環境が老若男女問わず住み心地の良い地域を作り出しています。

お金のために公園を作り変えたとしても、30 年後に同じ業者が経営できているかは疑わしいです。儲けが前提であると継続性には疑問符がつきます。しかし、自然は 30 年後も生き続け、根ざした文化も継続します。スターバックスやドトールコーヒー、有料駐車場、有料スポーツジムなどを作り、お金を払った人しか安らぎを享受できない状況は不平等です。行政サービスを受けるために税金を払っている区民にとって、このような状況は納得できません。

住民アンケートを少し行っただけで行政の長が勝手に決めることは暴挙です。社会共有財産である公園や森は住民のものです。海外では、公園などは行政のものではなく、多数による共有資源として管理されている例があります。

(裏面に続く)

富士公園を、お金を払った人しか楽しめない儲けの場所に変えないでください。古びた杭などを取り除き、安全面だけを配慮しコストをかけずに現状維持してください。バリアフリーや老朽化対策を旗印に儲けるための公園に変えることはやめてください。未来世代の資本を食い物にして短期的に今だけ稼ぐ姿勢は、区民のためになっていません。民間委託はおやめください。現状維持で十分です。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

## 記

富士公園バーベキュー場の周囲の自然環境を保存し、現状維持を求めます。